

## 〈コミュニケーション講座カリキュラム〉 1回・2時間/月2回(4ヶ月間)

第1回	ラ・ポール	人がコミュニケーションをとらえるとき、90%の情報は非言語から受け取っているといわれています。心が通い合うコミュニケーションをするために必要な言語・非言語スキルを学びます。
第2回	キャリブレーション	NLPの技法のひとつであるキャリブレーション(相手を観察する技法)をマスターすることにより相手の情報処理のパターンに合わせたコミュニケーションを可能にする関わりを学習します。
第3回	問題が存在する時のコミュニケーション①	1対1の人間関係で問題が生じている時、どちらが抱えている問題なのかを判断し、それぞれの対応を考えます。どちらが抱えている問題かを見分ける方法と自分が問題を抱えている時の対応について学びます。
第4回	問題が存在する時のコミュニケーション②	相手が問題を抱えている時の対応の仕方を学びます。自分または相手が問題を抱えている時に、行ってしまいがちな誤ったコミュニケーションについて考えます。
第5回	内的対話(インナーチャイルド&アダルトチャイルド)	自分が抱えている問題なのに、相手に問題の解決の責任があると捉えてしまったり、相手が抱えている問題の責任が自分にあるように感じる心理状態を、インナーチャイルド&アダルトチャイルドの概念を学ぶことによって解明します。
第6回	内的対話(ワンダーチャイルド&愛するアダルト)	第5回とは逆に、インナーチャイルド&インナーアダルトがどのような状態になると、心が安定し相手も自分もディスカウントしない、対等なコミュニケーションをとることができるかを学びます。
第7回	JTCモデル	当学院オリジナルのモデルであるJTC(日本総合カウンセリング)モデルの流れを学びます。このモデルをマスターすることにより、心が安定し常に質の高いコミュニケーションをすることが可能になります。
第8回	ニューロロジカルレベル	NLPの技法のひとつであるニューロロジカルレベルを用いて、意見の食い違う相手とのコミュニケーションを新しい観点から捉える方法を学びます。解決策、妥協点が見出せない問題に対しても、選択の可能性を広げる方法です。